

水は牛が一番多く摂取する餌である。水という餌を忘れるな

乳牛の栄養を考える上で大事なことであるが、つい忘れがちなことである。水は牛が一番多く摂取するものでありながら、それが充分であるかどうかは検討されないことが圧倒的に多い。ウォーターカップで飲ませるのか？水槽で飲ませるのか？給水量は充分であろうか？

つなぎ牛舎では水道配管が行き止まりになっていることが多く、配管の最後の所の牛は水の出が悪いことが多い。水が飲めて初めて多くの餌を摂取できるのであるが、水の制限が餌の摂取量を制限していることがおおい。今一度飲水時の牛の状態を観察すると良いであろう。

40kg 泌乳している牛は、約100L/日以上の水を飲み、しかも搾乳後にその内の70%を摂取するという。牛も飲みたいときは皆同じである。お預けを食らってからのビールは飲む量は減るのである。

水の要求量 (ガロン)

$$=15.99+(1.58 \times \text{DMIポンド})+(0.9 \times \text{乳量ポンド})+(0.05 \times \text{Na g})+(1.2 \times \text{最低温度F}) \times 0.1158$$

という計算式がある。飲水量は気温度と乾物摂取量、乳量、塩分に左右される。

この式を、乾物摂取量を左側にして変えてみた。

DMIポンド =

$$\{\text{飲水(ガロン)} - 15.99 - (0.9 \times \text{乳量ポンド}) - (0.05 \times \text{Na g}) - (1.2 \times \text{最低温度F}) \times 0.1158\} / 1.58$$

この式より、**飲水量が減少すれば、乾物摂取量が減少する事が判ります。**

また、真冬では水の温度も乾物摂取量を制限する要因となる。特に乾乳牛や育成牛、顕著であるのは哺乳牛である。冷たい水は体温を下げるので（水も体温まで暖めねばならない）、冬には飲水量を制限してしまう。そのことが餌の摂取量を制限します。スターターの摂取量が少ない、成長が悪いなどは、冬場の水の温度を調整しなくてはなりません。

乾乳牛も同じで、水の摂取が体温を下げるので、水を制限してしまい、餌の摂取量が下がります。寒さに対するエネルギーが更に必要にもかかわらず、結果として栄養不足を招きます。冬に周産期病が多い農家は、水も原因のひとつかも知れません。当然ながら水質も大いに乾物摂取量に影響します。

牛に対する水の最適温度は、17度くらいです。

一斉に飲んだら水がなくなった水槽



こんな汚い水飲めるかよ。
水槽は毎日掃除が必要なもの

